

うっしっしいー情報2017

3月市



豊岡農業改良普及センター

3月8日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が83万4千円、雌が80万2千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	9	0.911	820,680	8	0.899	738,180	17	781,856
篠山	8	0.969	838,080	4	0.877	842,670	12	839,610
丹波	26	0.928	838,080	16	0.830	760,253	42	808,431
朝来	6	0.988	857,520	7	0.826	753,069	13	801,277
播磨	22	0.896	766,604	13	0.815	714,212	35	747,144
美方郡	80	0.949	840,969	52	0.849	854,072	132	846,131
豊岡	26	0.972	846,180	22	0.855	804,993	48	827,303
養父	31	0.974	846,406	17	0.847	811,080	48	833,895
摂津・神戸	3	0.944	841,680	1	0.837	828,360	4	838,350
県北C	6	0.925	825,660	6	0.810	737,640	12	781,650
市場全体	217	0.947	833,581	146	0.845	802,470	363	821,068

3月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	芳悠土井	50	0.957	857,520	45	0.862	836,088	95	847,368
	総計	217	0.947	833,581	146	0.845	802,470	363	821,068
2	照忠土井	48	0.936	832,208	32	0.849	804,263	80	821,030
3	丸宮土井	38	0.938	837,966	19	0.822	780,613	57	818,848
4	芳山土井	32	0.954	797,378	25	0.836	814,450	57	804,865
5	千代藤土井	26	0.954	834,175	17	0.851	748,885	43	800,456

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	芳悠土井	A+	A	A	B	A	A+++
2	照忠土井	B	A+++	A+ → A	A+	A+++	A+
3	丸宮土井	B	B	A+	A++	A++ → A+	A++
4	芳山土井	A+	A++	A++	C	A+	A++ → A+
5	千代藤土井	A	A+++	D	A+	A++	A++

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成29年1月現在)

そのほ乳ボトル、清潔ですか？

子牛は、無菌状態で産まれてきます。さて、ここで問題です。時間経過とともに子牛の腸内には、善玉菌と悪玉菌のどちらが先に増えるでしょうか？答えは、「悪玉菌」です。その原因は、

- ①分娩室の汚れ
- ②ふん便の付いた乳房からのほ乳
- ③追加哺乳のボトルの不適切な洗浄による汚染 等々です。乳は、無菌状態のため人為的に汚染した乳を給与している事になります。そこで今回は、哺乳ボトルの洗浄などに重点をおいて説明します。

1 なぜ、悪玉菌が先に増加したら問題があるのか。酪農での見解

広島大学酪農セミナー（2016年1月開催）で、「細菌とIgG(抗体)」並びに「細菌と腸内微生物」の関係について興味深い話がありました。内容は以下のとおりです。

- ① 細菌は、初乳中の抗体と結合し、抗体の吸収効率を低下させる。
- ② 初乳中の大腸菌が多いと腸内の大腸菌が大幅に増加する（生後6または12時間後の状態）。
- ③ 大腸菌は、抗体吸収部位を痛めるため抗体を吸収しにくくする。

結論は、できる限り大腸菌が存在しない乳を与えましょう。ということです。

2 調査してみたら・・・

但馬丹波の農家を中心に、追加哺乳の現状と哺乳瓶や希釈水の衛生状況についてスポット的に調査しました。

(1) 追加哺乳で気になった点

- ✓希釈水が山水や川水、井戸水の方が多かった。
- ✓希釈温度の確認は、経験や機械(ボイラー等)の設定温度で管理している方が多く、実際の温度が低い場合が多かった。
- ✓乳首の穴が経年劣化で大きくなっていたり、故意に大きくしている方がありました。これは哺乳時において子牛が飲み込む以上の乳が流入するため、誤飲の原因となることが考えられます。

(2) 哺乳瓶等の汚染状況

- ✓希釈水が山水や川水を使用している場合、天候次第で汚染されている場合があります。
- ✓綿棒で、哺乳ボトル内部や乳首をこすって細菌を培養すると、ほとんどの場合で汚染が確認され、特に取っ手のあるタイプで、一番洗にくい部分の汚染が見受けられました(左写真、丸印の部分の内側)。

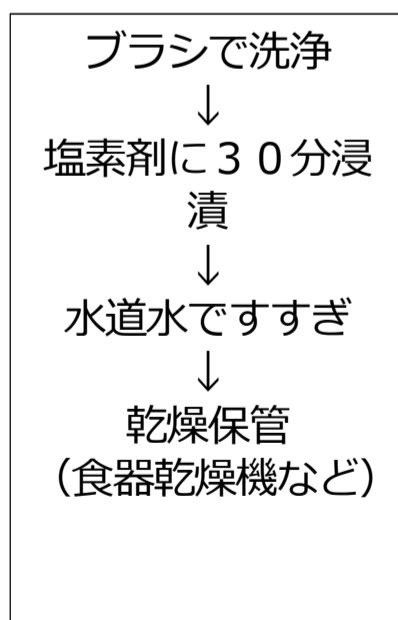


3 対応策

(1) 基本の見直し

- ✓希釈水は、水道水を使用しましょう。
- ✓希釈温度は、製品ごとの使用方法に従って、必ず温度計で確認して下さい。温度の違いが希釈度合いや消化の面で変わる場合があります。
- ✓乳首の穴は、大きくしない。誤飲の原因になります。

(2) 使用後の哺乳瓶の洗浄



大腸菌は退治された！！

～今回の調査で気づいたと事～

- ・持ち手の部分が一番汚れているので、念入りに洗浄しましょう（洗えない部分も有りますが）。
- ・取っ手の穴をコーキングしてみてもいいでしょうか。但し、空気調整弁のある哺乳ボトルは、難しいです。
- ・取っ手の無いタイプを使うのも一つの方法です。
- ・子牛が塩素剤を嫌う場合は、人間の赤ちゃん用を使っている農家もいます。水洗いも不要のようです。
- ・バケツの中や棚に無造作に置かれて保管状態が悪い。食器乾燥機やフード付きの食器置きなどに保管してみてもいいでしょうか。

～まとめと確認～

- ① 菌状態で産まれてきた子牛を清潔に取り扱いましょう。分娩室の敷料は取り替えましょう。
- ② 疫物質を吸収しやすい生後12時間（最長24時間）以内は、特に注意が必要です。早めに初乳を飲ませましょう。
- ③ 2013年7月号の牛だよりに「ほ乳」のことについて記載しています。ご覧になりたい方は、「豊岡農業改良普及センター」のホームページ (<http://web.pref.hyogo.jp/tjk12/documents/ussissi20130710.pdf>) をご覧下さい。